

第26回 日経STOCKリーグ 概要説明

2025年7月5日
日経STOCKリーグ事務局

日経STOCKリーグとは？

第26回

中・高・大学生のための金融・経済学習コンテスト
日経STOCKリーグ
株式投資を通じて社会をまなぼう！

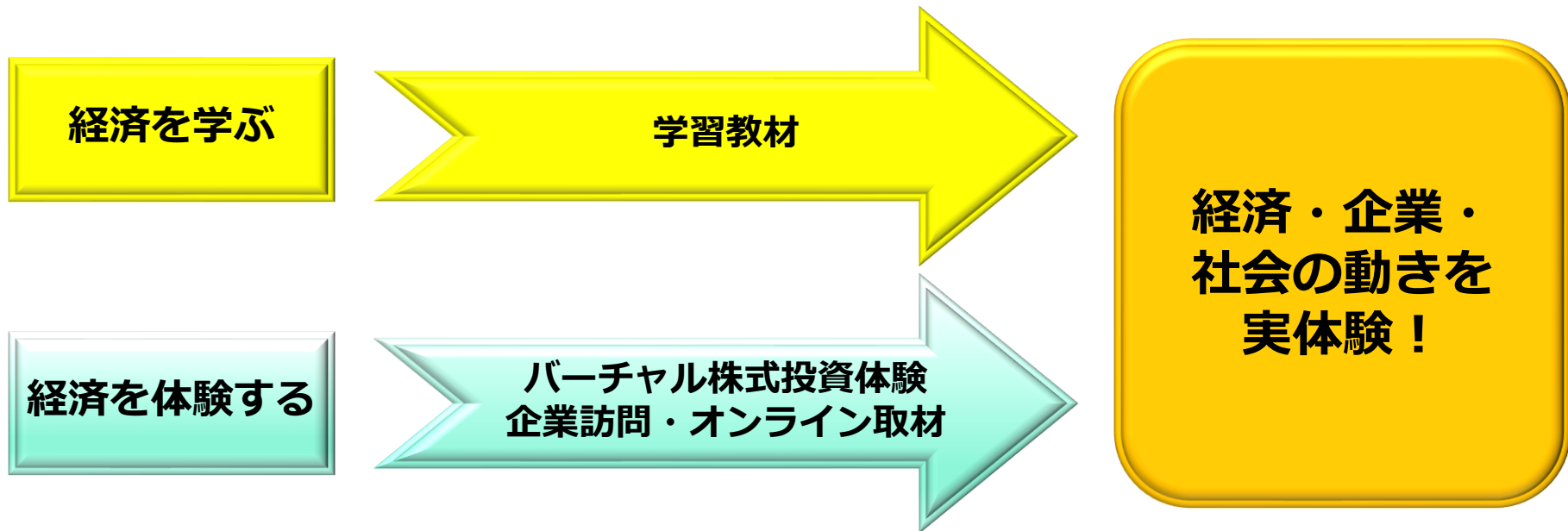
累計
延べ参加人数
16万人以上！

【主 催】 日本経済新聞社
【特別協賛】 野村ホールディングス
【後 援】 文部科学省、金融庁、日本取引所グループ、日本証券業協会ほか

「チーム（3～5人）」を組んで、「投資テーマ」を決めて、
その投資テーマに沿った「株式ポートフォリオ」を組んで、
その過程を「レポート」にまとめて、ご提出いただきます。
審査を経て優秀作品を表彰する、コンテスト形式のプログラムです。

日経STOCKリーグのコンセプト

参加いただく学生の皆さんが・・・



**まずは
日経STOCKリーグの概要をまとめた
動画をご覧ください。**

日経STOCKリーグ紹介動画

🏠 > 日経STOCKリーグ



中・高・大学生のための金融・経済学習コンテスト

日経STOCKリーグ

まなぼう



→ 日経STOCKリーグ紹介動画はこちら！

中・高・大学生のための金融・経済学習コンテスト

日経STOCKリーグ

学習教材無料提供 / 最優秀賞チームを海外研修旅行にご招待！

日経STOCKリーグは、中・高・大学生を対象にした金融・経済学習コンテストです。参加学生は経済や株式投資について勉強しながら、企業を知り、社会を見る目を養うことができます。

希望者は期間中、日経電子版等を無料でお読みいただけます。レポート作成にご活用ください。

主催：日本経済新聞社 特別協賛：野村ホールディングス

公式ホームページ「man@bow」



このサイトをブックマークして使ってね！

運営 野村ホールディングス・日本経済新聞社

まなぼう
man@bow

経済について楽しく学べる！



ホーム



お金のコラム



経済ニュース



STOCKリーグ



野村の経済教室

第26回日経STOCKリーグ参加登録 / 参加者向け説明会申込み受付中！

中・高・大学生のための株式学習コンテスト。最優秀賞チームを海外研修旅行にご招待！

2025/5/23 日経STOCKリーグ

NEWS



トランプ米政権がもたらす影響を、投資家目線で考えてみる

2025/6/25 いま聞きたいQ&A



米市場のトリプル安懸念は消えた？ ---株高突出

2025/6/18 金融そもそも講座（第381回）



第26回日経STOCKリーグ参加登録 / 参加者向け説明会申込み受付中！

中・高・大学生のための株式学習コンテスト。最優秀賞チームを海外研修旅行にご招待！

2025/5/23 第26回日経STOCKリーグ

man@bow

まなぼう



に様々な情報があります。

日経STOCKリーグにご参加いただく意義

① 株式や経済、社会のしくみ、そして投資について学ぶことができる

- ・ 経済や社会に関する知識を学びながらレポート作成に取り組んでもらう構成
- ・ STOCKリーグに取り組む過程で身につくライフスキルでもある金融リテラシー

② 社会課題や企業を見る目が養われ、視座を広げることができる

- ・ テーマ設定の過程で、社会にはどんな課題があり、自分達はどんなものに関心があるのか、に向き合う
- ・ スクリーニングの過程にある企業研究は、様々な視点から企業を見る格好の機会になる

③ 自立心・積極性を養うことができる

- ・ レポート作成のために、自ら経済・株式投資の学習をし、企業研究を行う
- ・ 教室の枠を超えた自発的な学習で、自分達で納得のいくまで突き詰めることもできる

④ 協調性・コミュニケーション能力を培うことができる

- ・ チームで1つのレポートをまとめあげる過程で培われるのは協調性
- ・ レポート作成の過程で、実際に企業との接点を持つことで養われるコミュニケーション能力

レポート提出までのSTEP

最初の一步：チーム結成！

チームを組む（3～5人）



+ 指導教員



- ・ 同じ学校、同じ部門（中学・高校・大学専門学校）単位で申込をお願いします。
- ・ 同じ学校であれば、チーム編成はクラス、クラブ、ゼミなど自由です。
- ・ 同じ学校の同じ部門であれば、学年が違うメンバーでのチーム構成でもお申込みいただけます。
- ・ 原則、指導教員とご一緒でのお申込みをお願いします。
- ・ 指導教員がない場合でもご参加いただけます。詳細は事務局までご連絡ください。
- ・ 教員お一人についての申込チーム数の上限はありません。何チームでもお申込みいただけます。

学習の進め方



基礎学習



まなぼうサイト内にある

学習教材をつかって

経済の基本を学んでいただきます。

まなぼう



第26回目標STOCKJ-タ [3]

基礎学習（必須）

※ 別添の学習ガイドブックをチーム全員がしっかりと読んで、必ず、すべての設問に解答してください

1. 私たちの生活に必要な財やサービスを [11] し、 [21] させ、 [31] することを経済という。財やサービスには、代金を払った人だけが消費を独占できる [41] と、政府が税金等を使って提供する [51] とがある。
2. 経済の主体には、生産・流通の主体である [61]、消費の主体である [71]、行政サービスや公共財の提供などを通して一国の経済活動を調整する主体である [81] がある。
3. 通貨には、紙幣や硬貨などの [91] と、銀行などに預けられており振替などで決済手段として機能する [101] とがある。
4. 国民の金融リテラシー向上を目的として2024年に設立された [111] は、金融経済教育の機会を幅広い年齢層に向けて全国的に提供することを目指し、学校や企業などに講師派遣や、セミナーなどを行っている。
5. 2024年から始まった新NISAに関する説明文のうち、正しいものは？
[121]
a. 新NISAでは、資産を積極的に投資に振り向けることを目的に、年間投資額の上限が厳格化された。
b. 新NISAには、毎月積み立てる「つみたて投資枠」と、対象商品が多い「成長投資枠」の2つの枠があり、どちらか一方を選択する。
c. 新NISAでは、複数の金融機関でNISA口座を開設できる。
d. 新NISAの口座は、18歳以上であれば親の同意なしで作ることができる。
6. 日本では人口減少が進む中、性別や年齢、言語や宗教など多様な視点を有する人たちが構成される相乗の効果が強さを増すという [131] の重要性が指摘されている。

第26回目標STOCKJ-タ [4]

設立された「環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定（CPTPP）」は、日本や中国、韓国、インドなどGDPの約3割を占める世界最大規模の経済圏を形成する。CPTPPは、貿易と投資の自由化を進め、経済成長を促進する。CPTPPは、貿易と投資の自由化を進め、経済成長を促進する。CPTPPは、貿易と投資の自由化を進め、経済成長を促進する。

のほ？

とは、消費者にとっても国内の生産者にとっても、幅広い分野での協力を定めた協定（通関）が分断されると、世界経済に大きな影響を与える。CPTPPは、貿易と投資の自由化を進め、経済成長を促進する。CPTPPは、貿易と投資の自由化を進め、経済成長を促進する。CPTPPは、貿易と投資の自由化を進め、経済成長を促進する。

が企業の課題となっており、二酸化炭素の削減が求められる。CPTPPは、貿易と投資の自由化を進め、経済成長を促進する。CPTPPは、貿易と投資の自由化を進め、経済成長を促進する。CPTPPは、貿易と投資の自由化を進め、経済成長を促進する。

今、今回、グループで設定した投資テーマと一致しているか？

は？

る投資の方法の一つである。

である。

少株を買えないが、株価が下がれば買える。

から、SNSで特約的なビジネスモデルを有しており、世界各国で様々な対策や規制が行われている。

をどのくらい上手に操縦して利益を上げているか？

第26回目標STOCKJ-タ [5]

正しいものはどれか？

であるが、その他にも、地方証券取引所があり、地域経済の活性化に貢献している。

[231] の3つが重要とされている。[231] を分けることで安定した収益を確保できる。

は？

る投資の方法の一つである。

である。

少株を買えないが、株価が下がれば買える。

から、SNSで特約的なビジネスモデルを有しており、世界各国で様々な対策や規制が行われている。

をどのくらい上手に操縦して利益を上げているか？

るのを見えるための指標はどれか。

[291]

a. ROE b. 自己資本比率 c. PER d. PBR

学習教材① 学習ガイドブック

学習ガイドブックを活用して、経済・株式投資の基礎を身につける

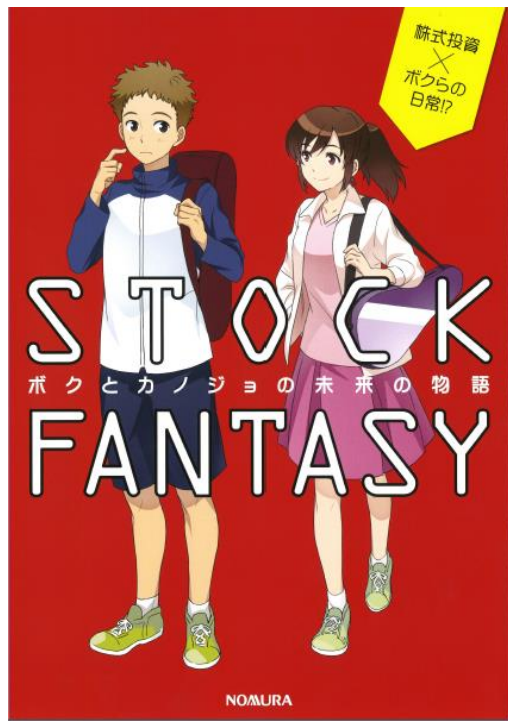
経済・株式投資の基礎知識が身につきます。投資テーマ選びのポイントやレポート作成のヒントも。

[illegible]

学習教材② STOCK FANTASY

学習テキスト「STOCK FANTASY」

経済、金融、株式などの仕組みを解説した学習本でわかりやすく学べます。



(申込制) 野村ホールディングス社員による出張授業

希望する学校には、野村ホールディングスの社員が講師となり、出張授業を行います。
前半が金融の基礎知識について、後半が日経を使ったテーマ選びとスクリーニングについて学ぶ授業です。



お申込はこちらから→<https://manabow.com/sl/concept/lesson.html>

「基礎学習」があるのは「レポートフォーマット」内

「レポートフォーマット」
の冒頭にある「基礎学習」
部分をダウンロードし、
回答を記入してください。

<レポートフォーマットの構成>

①基礎學習（必須）

②レポート書式（任意）

第26回日経STOCKリーク [1]

第26回

日経STOCKリーグ

レポートフォーマット
記入用

<レポートフォーマットの使い方>

1. 本フォーマットは、「**基礎学習**」と「**レポート書式**」で構成されています。
2. 「**基礎学習**」は各チーム必須のパートです。内容は別添の学習ガイドブックに対応しており、経済・株式投資の基礎知識を確認し、向上させることでより発展的なチーム内の議論につなげることをねらいとしています。
3. 「**レポート書式**」の使用は任意です。書式に沿って各チームで学習を進め、その内容や結果を直接このフォーマットに記入していくことで、レポートを完成させるように構成されています。よりオリジナリティを発揮してレポート作成を行いましょう。この書式を使用しなくても結構です。
4. 項目ごとに設けられている記入欄の大きさは、あくまで参考です。記入の仕方や分量に合わせて、自由にスペースを調整してください。図表・写真等を入れても構いません。
5. 提出するレポートには、この表紙ページは付けなくて大丈夫。
6. 募集要項の**レポート提出要項**に記載のある上乗せ枚数（表紙、「基礎学習」部分を含め A4 用紙3ページ以内）を必ず守ってレポートを作成してください。枚数をオーバーしたレポートは審査の対象外となります。
7. 「man@bowj」に掲載されている「レポート作成 & A」に、これまで寄せられた主な質問に対する回答を記載しておりますので、参考してください。

※このページは提出時には消滅してください。

[illegible][illegible]

レポートにはこの基礎学習を必ず入れてください。

学習の進め方



テーマ・ポートフォリオの設定



■「投資テーマ」を決める

普段困っていること、社会が困っていること、今後成長が期待できることなど身近なことから考えてみましょう。日本経済新聞や日経電子版、Nikkei Asiaなどを使って、最近ニュースなどで話題になっている事柄も調べながら、チームとして取り組むべき「投資テーマ」を設定してください。

■「投資テーマ」に合う会社を抽出する

決めた投資テーマを解決するにはどうすればいいのか、どんな会社に関わっているのか、または関わるべきなのかを考え、テーマを深掘しながらテーマに沿った会社を選んでいきましょう。

■「スクリーニング」を実施する

財務分析などを通じて、抽出した会社をさらに絞り込んでポートフォリオを組むための「スクリーニング」を実施してください。様々な経済指標を学んだ学習の成果を活かす機会でもあります。

■「ポートフォリオ」を設定する

スクリーニングの結果として10銘柄以上20銘柄以下での「ポートフォリオ」を組み、バーチャル投資システムで500万円分の仮想資金を割り振り、値動きを観察してください。

バーチャル投資の体験

man@bow
経済について楽しく学べる！

ホーム お金のコラム 経済ニュース STOCKリーグ 野村の経済教室

日経STOCKリーグ
中・高・大学生のための金融・経済学習コンテスト

日経STOCKリーグ
学習教材無料提供！最優秀チームを海外研修旅行にご招待！
日経STOCKリーグは、中・高・大学生を対象にした金融・経済学習コンテストです。参加学生は経済や株式投資について勉強しながら、企業を知り、社会を見る目を養うことができます。
希望者は期間中、日経電子版等を無料でお読みいただけます。レポート作成にご活用ください。

主催：日本経済新聞社 特別協賛：野村ホールディングス

第26回日経STOCKリーグ

最新情報
2025/05/27 NEW 「学生のときにしか、できないことがある。」参加チーム募集
2025/05/23 第26回日経STOCKリーグ募集開始・応募概要
2025/05/23 参加者向け説明会（LIVE配信）申込受付開始
2025/05/23 パンフレット（A4サイズ）を希望校に送呈します（詳細は事務局まで）

開催情報
→ 応募概要
→ スケジュール
→ 参加方法

日経STOCKリーグ概要
→ 日経STOCKリーグについて
→ 学習教材
→ 募集要項
→ 参加者の声

日経STOCKリーグの流れ
→ ポートフォリオ構築
→ レポート作成・提出
→ （申込期）出願発表
→ Q&A～教えて！日経先生～

バーチャルログイン

中・高・大学生のための金融・経済学習コンテスト
第26回 日経STOCKリーグ
株式投資を通じて社会をまなぼう！

NOMURA

man@bow

日経STOCKリーグ バーチャル株式投資

日経STOCKリーグ バーチャル株式投資は、支給される仮想実際の株価に基づいて、インターネットで株式売買シミュレーションの作成、運用を体験することができるシステムです。其中で、株式投資そのものについて学ぶだけでなく、経済・金融についても学ぶことを目的としています。

チームID/
PWを入力！

バーチャル株式投資（仮想資金500万円）

日経STOCKリーグ参加チームのバーチャル株式投資のログインページです。チームIDとパスワードを入力して[ログイン]ボタンをクリックしてください。※パスワードを忘れてしまった方はこちらへ。

チームID SL2500012
パスワード *****

>> ログイン

Log in

[はじめて利用する方へ]
ご利用いただくには 参加エントリー が必要です。参加エントリーは指導教諭（教員）の情報登録する必要があります。指導教諭（教員）からお申し込みください。
※但し、指導教諭（教員）がいない場合でも参加は可能です。詳細は事務局までお問い合わせください。

[チーム登録・登録内容の確認・修正]
チーム登録・登録内容の確認・修正には先生ID、パスワードが必要です。

>> 参加エントリー

【申込締切】第1次締切 2025年6月30日（月）
最終締切 2025年9月5日（金）

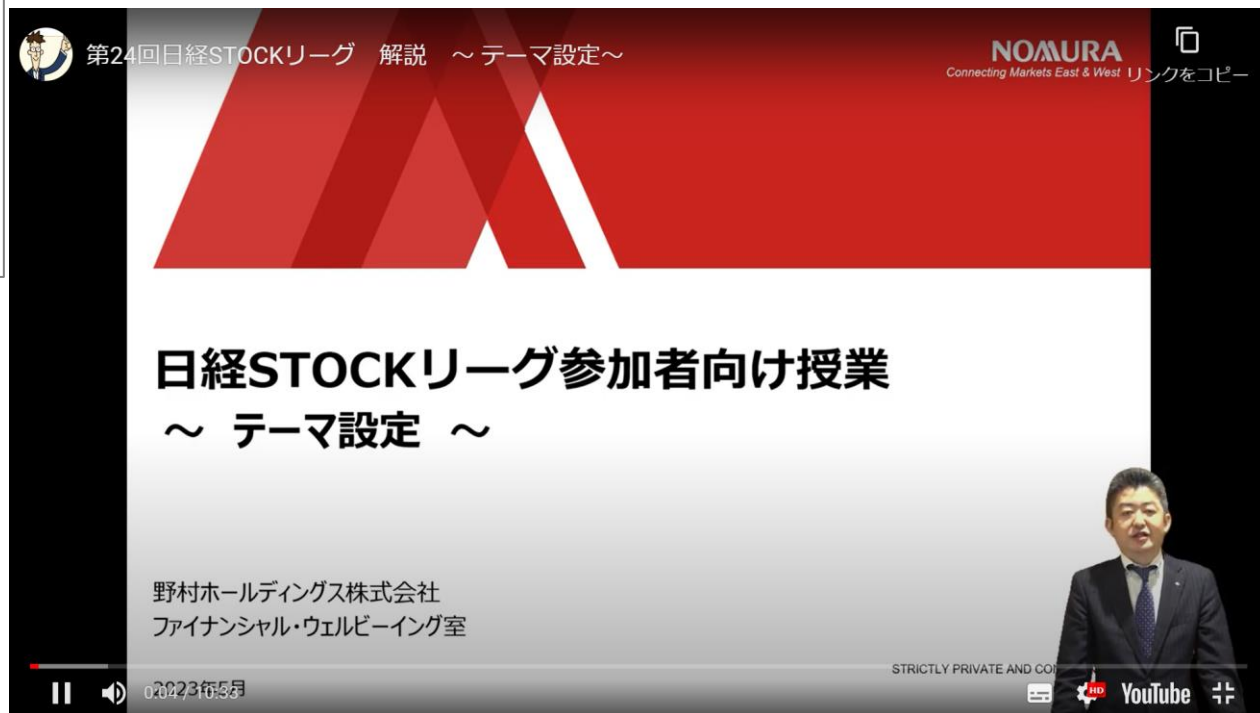
>> チーム登録・登録内容修正はこちら

実際の株価の値動きに連動しています。500万円の仮想資金を元手に、株式売買の体験や、組んだポートフォリオの値動き観察ができます。リセット機能も用意しています（11月末まで、2回まで）。

「投資テーマ」を考える際に参考になる動画



man@bowには参考になる動画がたくさんあります！



「スクリーニング」の際に参考になる動画



NOMURA
Connecting Markets East & West

日経STOCKリーグ参加者向け授業 ～ 銘柄スクリーニング・財務分析 ～

野村ホールディングス株式会社
ファイナンシャル・ウェルビーイング室

2023年5月

STRICTLY PRIVATE AND CONFIDENTIAL



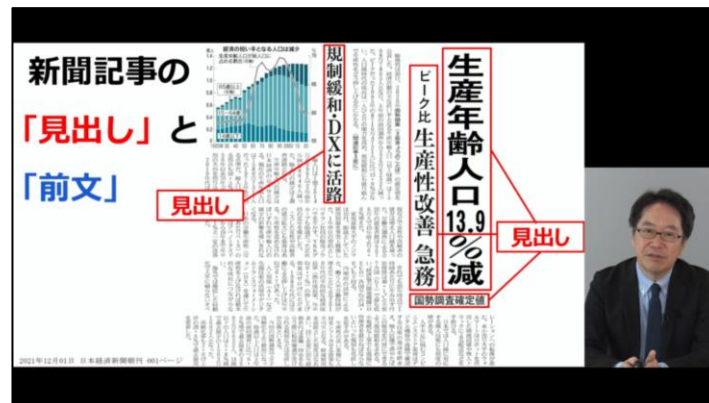
学習教材③ 日本経済新聞

日本経済新聞

担当教諭様宛に **1部宅配**致します。
お申し込み後、事務局よりエントリー済の先生宛に、
申込のご案内をメールでお送りします。

日本経済新聞の読み方ワンポイントアドバイス (動画コンテンツ)

日本経済新聞の読み方について、日経STOCKリーグ参加者
に向けたオリジナル動画も参考にしてください。



※配布期間は2025年10月～12月の3ヶ月間です。

学習教材④ 日経電子版

日経電子版

担当教員の皆様、希望する生徒の皆様全員に
有料会員サービスをご利用いただけます。

お申し込み後、事務局よりエントリー済の皆様宛に
申込みのご案内をメールでお送りします。

【日経電子版】



日経STOCKリーグOG記者が語る 電子版活用法（動画コンテンツ）



効率的な情報収集のために 日経電子版を活用する（動画コンテンツ）



※ご利用期間は2025年10月1日～26年1月31日の約4ヶ月間です。

学習教材⑤ NIKKEI FT the World

NIKKEI FT the World

担当教員の皆様、生徒の皆様全員**有料会員サービス**をご利用いただけます。
英フィナンシャル・タイムズ (FT)の質の高い記事を日本語でわかりやすく伝えています。
グローバルの経済トレンドをつかんだり、FT独自のグローバルニュースの切り口を参考にしたり、
ぜひご活用してください！
お申し込み後、事務局よりエントリー済の皆様宛に、申込みのご案内をメールでお送りします。

【NIKKEI FT the World】



※ご利用期間は2025年8月1日～26年1月31日の6か月間です。
※6月30日までにSTOCKリーグに参加エントリーし、かつ7月6日までにお申込みいただいた方への特典です。

学習教材⑥ Nikkei Asia

Nikkei Asia

担当教員の皆様、生徒の皆様全員**有料会員サービス**をご利用いただけます。
投資テーマを考える際、グローバルな目線ではどんな報道がなされているのかを確認して日本国内の報道と比較してみたり、アジアの経済動向を確認する際に活用いただくと、きっと新たな発見があると思います。
お申し込み後、事務局よりエントリー済の皆様宛に、申込みのご案内をメールでお送りします。

【Nikkei Asia】



※ご利用期間は2025年10月1日～26年1月31日の約4ヶ月間です。 24

フィールドワーク・アンケートについて

2

テーマ
ポートフォリオ設定



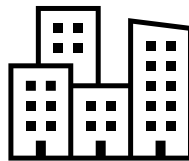
企業を訪問する「フィールドワーク」、学校の仲間への「アンケート」

企業や官公庁に話を聞きに訪問する「フィールドワーク」も是非実施してみてください。

テーマに関連する企業に対して、わからないことを聞いてみる、自分達で考えたことを確認してみることで、理解が深まったり、進むべき方向性のヒントが見出せたり、レポートのクオリティ向上につながるかもしれません。学校の仲間へアンケートを実施してみる手もあります。

投資テーマを検討する際、スクリーニングを行う際、ポートフォリオを組む際や組んだ後など、フィールドワークやアンケートを実施するタイミングはたくさんあります。せっかくの機会なので、自分達のペースに合わせて是非取り組んでみてください。

審査員にも、取り組みの“熱意”が伝わることでしょう。



日経・東証 I Rフェア2025

入場
無料

9/26（金）、27（土）の2日間、東京ビッグサイトで開催！

数多くの上場企業が出展予定！

企業研究、企業の担当者に話を聞く機会に。

上場企業と個人投資家の対話の場

日経・東証 I Rフェア 2025

9月26^日（金）・27^日（土） 10:00～17:00

東京ビッグサイト 西3・4ホール

主催：日本経済新聞社、日本取引所グループ

学習の進め方



3

レポート作成



内容

- ・レポートフォーマット内「基礎学習」への回答（必須）
- ・投資テーマを決めた背景
- ・スクリーニングの過程、その銘柄を選んだ理由
- ・ポートフォリオの銘柄の値動きを見て気がついたこと
- ・日経STOCKリーグへの参加を通じて感じたこと、学んだこと など

体裁

- ・基礎学習含めて A 4 で 3 0 枚以内（表紙含む、字の級数は10.0pt以上）としてください。
- ・提出ファイル形式はPDFをお願いします。
- ・図やグラフを用いる際は、図表内の文字の大きさは視認できる級数にしてください。
- ・レポートの中で取り扱うデータは出典を明記してください。

3

レポート作成



<中学部門／高校部門>

1. 経済や株式投資への理解
2. ポートフォリオの創造性、ユニーク性
3. 表現力、文章力
4. 学習への熱意、意気込み（アンケート調査や企業へのアプローチを含む）

※ポートフォリオの評価額は審査には関係ありません。

3

レポート作成



<大学部門>

1. 経済や株式投資への理解
2. ポートフォリオの創造性、ユニーク性
3. 表現力、文章力
4. 学習への熱意、意気込み（アンケート調査や企業へのアプローチを含む）
5. ポートフォリオの理論性、専門性（大学生のみ）

※ポートフォリオの評価額は審査には関係ありません。

3

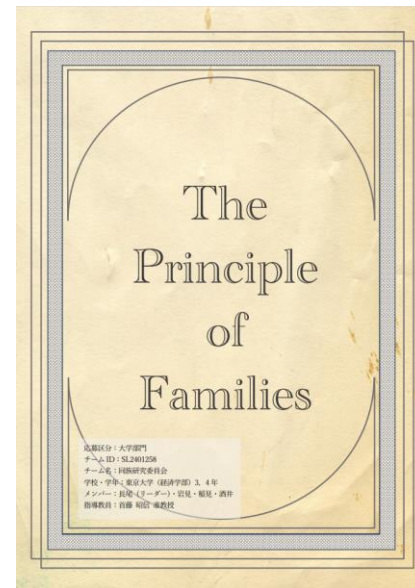
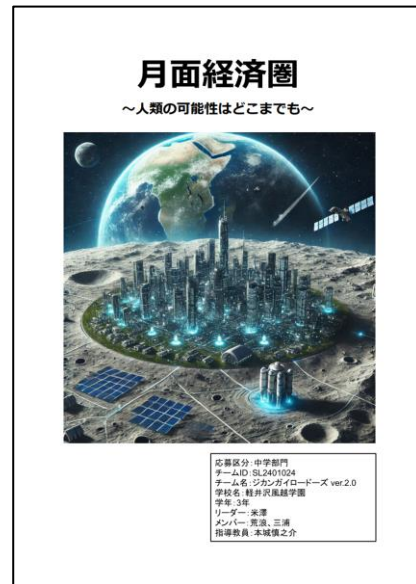
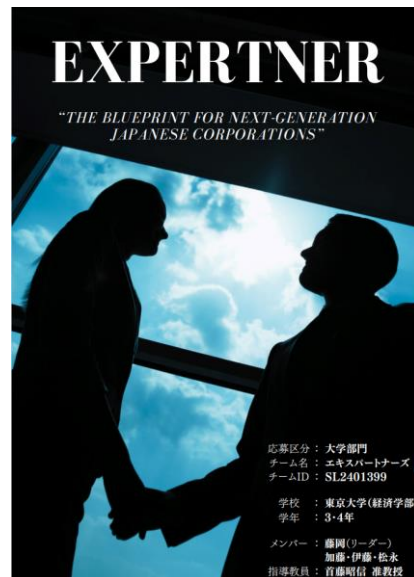
レポート作成



＜注意事項＞ 以下のレポートは審査対象外です。

- ・ 基礎学習を実施していないレポート
- ・ ポートフォリオが「10銘柄以上20銘柄以下」ではないレポート
- ・ 枚数が31枚以上のレポート

昨年度受賞レポート



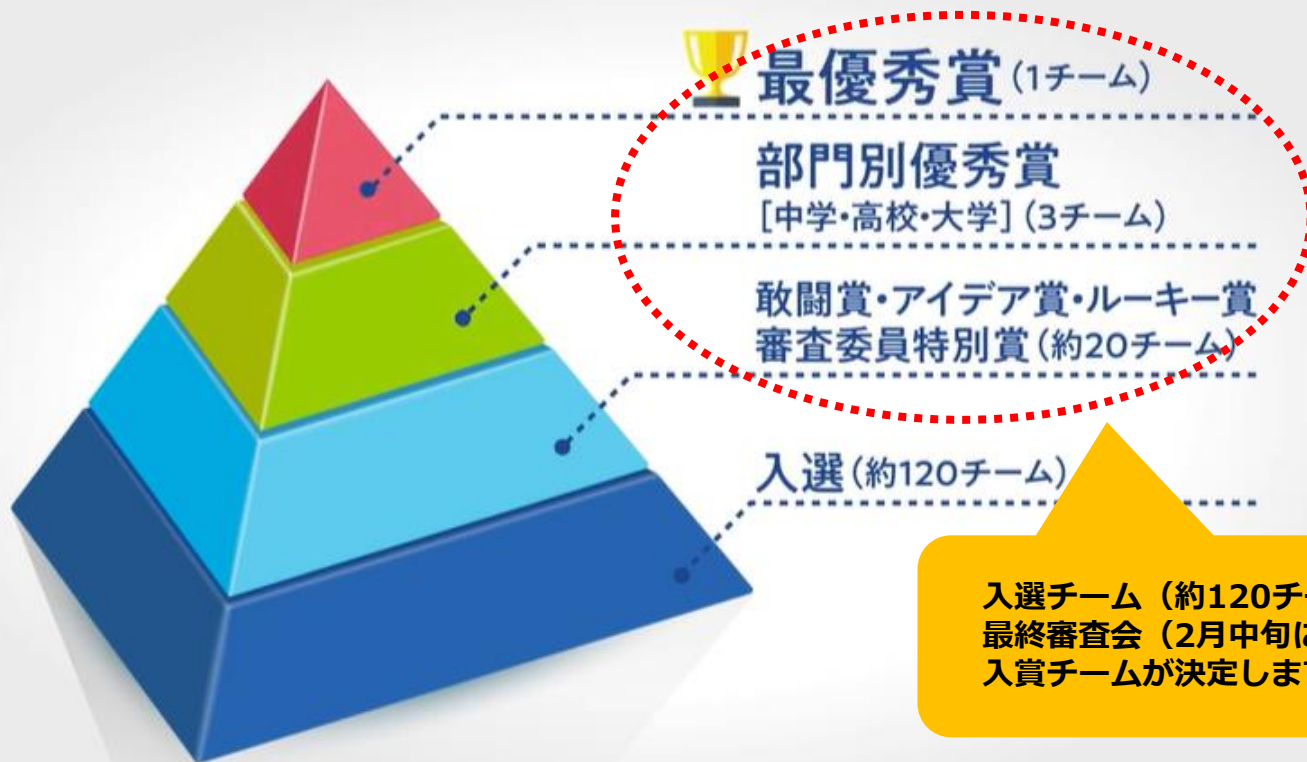
man@bowから、過去の入賞レポートをご覧いただけます。

表彰について

表彰（入選）について



表彰（入賞）について



入選チーム（約120チーム）の中から、
最終審査会（2月中旬に実施予定）を経て、
入賞チームが決定します。

入賞チームは表彰式にご招待します！



審査委員特別賞

日経STOCKリーグ 表彰各賞



○審査委員特別賞

最終審査会での審査員の先生方との議論を通じ、該当チームに贈られます。

中学・高校・大学部門より数チーム選ばれます。

<副賞>

中学部門 Amazon ギフトカード 3万円分

高校・大学部門 賞金 3万円

ルーキー賞

日経STOCKリーグ 表彰各賞



○ルーキー賞

参加回数が3回以内の学校に限定して贈られます。

中学・高校・大学部門より数チーム選ばれます。

<副賞>

中学部門 Amazon ギフトカード 3万円分

高校・大学部門 賞金 3万円

アイデア賞

日経STOCKリーグ 表彰各賞



○アイデア賞

特筆すべきテーマや発想に対して贈られます。

中学・高校・大学部門より数チーム選ばれます。

<副賞>

中学部門 Amazon ギフトカード 3万円分

高校・大学部門 賞金 3万円

日経STOCKリーグ 表彰各賞



○敢闘賞

総合点も加味して優れたレポートのチームに送られます。

中学・高校・大学部門より数チーム選ばれます。

<副賞>

中学部門 Amazon ギフトカード 5万円分

高校・大学部門 賞金 5万円

部門優秀賞

日経STOCKリーグ 表彰各賞



○部門優秀賞

中学・高校・大学部門より1チームずつ選ばれます。(合計3チーム)

第25回(前回)は部門優秀賞の3チームを訪問し、新聞広告用の写真撮影や取材などを実施しました。

<副賞>

中学部門 Amazonギフトカード 20万円分

高校・大学部門 賞金20万円

最優秀賞

日経STOCKリーグ 表彰各賞



○最優秀賞

全部門より1チームが選ばれます。

第25回（前回）は最優秀賞チームを訪問し、
新聞広告用の写真撮影や取材などを実施しました。

＜副賞＞

チームメンバー全員を海外研修旅行にご招待



2025年3月のNY研修旅行のひとコマ（@NY証券取引所）

第26回スケジュール

2025年

6 / 30

エントリー 一次締め切り



※早期申込者特典(6/30までの申し込み) ■日経電子版&NIKKEI FT The World(8月以降利用権)

7 / 5

参加者向け説明会【どなたでもご参加いただけます】



9 / 5

エントリー 最終締め切り



10月より

日経電子版、NIKKEI Asia等の配布・閲読開始



10月中旬

オンライン学生交流会



2026年

1 / 7

レポート提出締め切り



3 / 14

表彰式



エントリー方法はこちら！

The screenshot shows the homepage of the man@bow website. At the top, there is a navigation bar with links to Home, Money Column, Economic News, STOCK League, and Nissei's Economic Classroom. Below this, there is a section for the Nissei STOCK League, featuring a photo of three students and text about the competition. A red box highlights the registration buttons: 'バーチャル投資ログイン', '① 参加登録 (先生用)', '② チーム登録 / 修正 (先生用)', and 'レポート提出 (12月2日〜)'. A blue arrow points from the bottom of the page to the '① 参加登録 (先生用)' button.

man@bow
経済について楽しく学べ！

ホーム お金のコラム 経済ニュース STOCKリーグ 野村の経済教室

日経STOCKリーグ
中・高・大学生のための金融・経済学習コンテスト
日経STOCKリーグ

中・高・大学生のための金融・経済学習コンテスト
日経STOCKリーグ
学習教材無料提供 / 最優秀チームを海外研修旅行にご招待！
日経STOCKリーグは、中・高・大学生を対象にした金融・経済学習
コンテスト
企業を
希望する
作品を
提出
主催：日

バーチャル投資ログイン ① 参加登録 (先生用) ② チーム登録 / 修正 (先生用) レポート提出 (12月2日〜)

第26回日経STOCKリーグ

新着情報
2025/05/27 NEW 「学生のときにしか、できないことがある。」参加チーム募集
2025/05/23 第26回日経STOCKリーグ募集開始・応募概要
2025/05/23 参加者向け説明会 (LIVE配信) 申込受付開始
2025/05/23 パンフレット (A4サイズ) を希望校に送ります (詳細は事務局まで)

開催情報
→ 応募概要
→ スケジュール
→ 参加方法

日経STOCKリーグって何？
→ 日経STOCKリーグとは
→ 学習教材
→ 賞 (表彰内容)
→ 参加者の声

日経STOCKリーグの流れ
→ ポートフォリオ構築
→ レポート作成・提出
→ (申込制) 出張授業
→ Q&A〜教えて！日経先生へ

バーチャル投資ログイン 参加登録 (先生用) チーム登録 / 修正 (先生用) レポート提出 (12月2日〜)

まずは **man@bow** (<https://manabow.com/>) にアクセス！

- ① **先生に参加登録を行っていただき、**
- ② **チームを登録してください。**
(チームごとにIDとパスワードが発行されます)

多くの皆様のエントリーをお待ちしています！

2025年7月5日
日経STOCKリーグ事務局